



内都建第 1095 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

内灘町長 八十出 泰成



今後の道路行政についての意見・提案 の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のあった標記の件について、下記のとおり回答します。

記

別 紙 添 付

地方は少子高齢化・人口減少により深刻な状況であり、地域を活性化し、地域社会を支えるため医療、買い物等のサービスを広域的に共有でき、かつ、地震等の大規模災害時における救助救援等の広域応援活動の緊急輸送道路として、地域高規格道路等の整備が必要不可欠であります。

そのようなことから、地域活性化と物流・交流の効率化等を図るため、地域の実情に合ったインターチェンジの整備、それに繋がるアクセス道路の整備等を促進していただきたい。

また、地方における道路整備の実態は、安全・安心を確保するための改修、維持管理等が十分な状況でないのが現状であり、地方の道路整備の財源を確保していただきたい。

近年、道路利用者から、歩道が狭い、段差があるなどの不満が多く寄せられています。子供・お年寄り・障害者が利用する歩行者の歩行空間を確保するとともに車椅子やシニアカーが通行できるバリアフリー化などの生活密着した道路財源をこれまで以上に確保していただきたい。

また、地球温暖化によりCO2 排出量削減対策の認識が高まり、自転車利用者が増え、交通環境が変わりつつありますので、自動車、自転車、歩行者が安全に共存できる道路交通施策に取り組んでいただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

石 川 県 内 灘 町

○現状

内灘町の道路は、県道4路線、幹線町道 11 路線、準幹線町道9路線、その他 604 路線により構成されており、このうち 15 路線が都市計画道路となっています。

道路は市街地の形成にとって不可欠であり、都市機能を満たすための根幹的な施設です。

能登地区と金沢地区を結ぶ地域高規格幹線道路である能登有料道路は、直線化に向けて現在建設を進めています。それに連携する幹線道路の整備も進めています。

このほか、内灘町と金沢市を結ぶ都市計画道路向粟崎線がありますが、大野川に架かる機具橋が老朽化し架け替え等の対策が急務であります。

また、当町では市街地内の道路において通勤・通学等により交通渋滞が発生し、良好な居住・道路環境が損なわれており、交通弱者である子供・高齢者の安全・安心が十分確保できないのが現状であります。

生活道路については、既存市街地の狭隘な道路を拡幅整備し、防災面からも安全で安心な町づくりを進めるため街並み環境整備事業に取り組んでいます。

○課題

能登有料道路の河北潟放水路以南の直線化及び四車線化の整備を促進するとともに、定住促進、企業誘致などの当町の活性化はもとより広域基幹道路に不可欠の県道の整備、町幹線道路の整備することによってアクセス時間の短縮や交通渋滞の解消を図ることが喫緊の課題となっています。

都市計画道路向粟崎線の整備の中で大野川に架かる機具橋の架け替え、鉄道との共存等が大きな課題となっています。

また、大変厳しい財政状況の中では、これまでに整備されてきた道路は改修、維持管理、冬季間の交通の確保など十分ではなく、安全・安心な道路環境を提供するための財源確保が課題であります。

今後も健康で文化的な都市生活及び都市活動を確保するため長期的展望に立ち、効果的かつ計画的に整備を行い、都市景観を重視し、ゆとりのある道づくりが求められています。

周辺市町との連携機能を高めるため、能登有料道路をはじめとする幹線道路ネットワークの整備促進を図ります。

定住促進、企業誘致など町の活性化に繋げる道路整備を推進します。

また、住民に密着した町道や生活道路については、安全で移動しやすい快適な道路空間の確保に努めながら、整備を推進します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

石川 県 内 灘 町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(例) ・地域活力の向上 ・良好な生活空間・自然環境の形成	能登有料道路(地域高規格道路)の河北潟放水路以南の直線化及び四車線化 向粟崎地区街なみ環境整備事業	定住促進、企業誘致、地域間広域交流 災害時における救助救援等の広域応援活動 居住性の向上(狭隘道路の解消、未接道宅地の解消、空家、民家等の再生) 防災性の向上(消防車進入路の確保) 居住環境の改善	